

単元名 生活に役立つ物を作ろう

1 単元について

(1) 子どもの実態

在籍児童のうち、知的障がいの3年男子1名と情緒障がいの5年男子1名で年間活動計画を基に生活単元と自立活動の時間に交流学习を実施している。

2人は学年の枠を越えてとても仲がよく、以前から農作業体験や買い物学習、調理実習をするなどして交流を図ってきている。個々の障がいの特性や興味・関心、生活経験の違い、体力面などから得意なことと不得意なことに違いはあるが、互いに自分ができる役割を果たすことでよい手本になったり、真似たりして互いに刺激を受け合いながら活動をしている。

しかし、一緒に活動していても子どもたちだけではコミュニケーションがうまく取れなかったり、聞く・話すことなど基本的な学習の約束や一般的な社会的ルールの共有が難しかったりする面があるため、指導者がその都度仲介に入り約束ごとや活動の手順を丁寧に確かめながら活動を共にしてきた。

本単元に関わる個別の実態は、以下の通りである。

	自立活動		国語科
	学習への集中力や行動特性について	道具の扱いや器用さなどの技能面について	書くこと的能力について
5年男子児	<p>周囲のことを考えずに自分のやりたいことを押し通そうとして情緒不安定になったり、気持ちがそれてすぐに活動に参加できなかつたりすることがある。</p> <p>活動の途中でも興味が他に向かうと活動が中断してしまうことも多い。</p>	<p>手先が器用でブロックや折り紙などの細かい作業も自分の思い通りに創作することができる。色ぬりや切り貼りする作業も得意である。</p> <p>はさみやカッターなどの刃物を安全に扱えない場合がある。</p>	<p>書くことに苦手意識があり、特に自分の考えや長文を書くことに抵抗を示す。</p> <p>字形は整わないが書くスピードは速く、マスや罫線があれば、既習の漢字や短文を正確に視写することができる。</p>
3年男子児	<p>見通しがもてると意欲的に粘り強く学習に取り組むことができる。できないと思うことは、「難しいです。」と伝えることができる。</p> <p>初めての場面では抵抗と戸惑いが大きい。</p>	<p>自分で考えて絵を描くことが難しい。</p> <p>色塗りは丁寧にできるが、切り貼りなどの作業が苦手である。</p>	<p>書くスピードはゆっくりだが、程よい筆圧で字形を整えて書くことができる。</p> <p>習った漢字を使って文を書くことができる。</p> <p>日記などの簡単な文章を書くことができる。</p>

(2) 単元について

子どもの実態と身に付けさせたい力を考慮して、特別支援学校小学部・中学部指導要領の自立活動の項目の内容「5 身体の動き」「6 コミュニケーション」の2項目に基づいて本単元を構成した。自立活動は、将来の自立を目指し子どもの実態に合った様々な活動を体験させることをねらいとしている。これまで農作業やお店やさんごっこ、買い物学習などをする中で、計画・実施・振り返りを繰り返しながら、子どもが主体的に楽しんで活動に取り組み、満足感や達成感が得られるように展開してきた。

また、依頼の手紙やポスター、お礼の手紙を書くことについては、小学校学習指導要領国語科第3学年及び第4学年における「B 書くこと」の言語活動例に示されている「オ 伝えたいことを簡単な手紙に書く言語活動」をもとに活動を設定した。

今回は、身の回りにある材料を使って生活に役立つ物を作るという活動を設定した。牛乳パックを組み合わせてイスを製作する。製作する際に必要な物を集めることや、作り方を知っている人から聞くという過程を経る中で、アイデアを出し合って解決したり、人とのコミュニケーションのとり方を学んだりすることができると考え、本単元の構想を立てた。様々な人との交流を通して、適切な会話のやりとりを学んだり、知りたい情報の依頼の方法や感謝の気持ちの伝え方を身に付けたりすることができるだろうと考え、活動内容を設定した。

また、牛乳パックという身近な材料を使ってリサイクル製品を作るという体験は、環境保全に配慮した生活を意識させることができると同時に、自分が時間をかけて作った作品を使うことで物を大切に作る気持ちも育てることができると考える。

(3) 指導に当たって

本単元の指導に当たっては以下の点に留意し、少人数ならではの利点を生かし、指導者が役割を分担したり個別指導に当たったりして、個々の実態に合わせた指導を行っていく。

第一次では、新しい活動に入るため、目的や流れを視覚的に分かりやすく絵や写真などを用いて提示し、実際に作る作品を見せながら、子どもが「やってみたい。」「できそうだ。」という思いを感じられるように活動への意欲付けを図りたい。完成した作品は合同作品展の場で展示して多くの人に見ていただくことも伝え、最後まで作り終えることができるように意欲を持続させながらゴールを見据えて取り組ませたい。

第二次では、作品を製作するのに必要な材料を集めるための方法と作り方を知るための計画を立てる。どんな方法で材料を収集したらよいか、誰に作り方を聞いたらよいかを話し合い、依頼の手紙やポスターを作成する。作成する段階では見通しをもたせながら、5年男児に対しては書くことの抵抗感を減らすために、書写の教科書を手掛かりにさせて安心してとりかかれるように配慮する。活動に入る前には、時間配分を提示して、活動の始まりと終わりを明確に設定し区切りをつけさせることで、気持ちと行動をコントロールする力を身に付けさせたい。気持ちが落ち着かなくなった時や集中力が途切れて中断してしまった時は、あらかじめ決められたスペースで休憩してもよいことを伝え、自分のペースで気持ちを落ち着けながら作業にあたるように配慮していく。また、3年男児に対しては、作業の途中で困ったことや分からないことが出てきた時に「質問をする・確認をする」など相手に伝わるような意思表示をさせることも意識させたい。

第三次では、完成した作品を協力していただいた方々に見せ、自分ができたことや工夫したことを話したり、感想を聞いたりする場を設定し、伝え合うという活動を行う。自分の頑張りを相手に話したり、相手に認めてもらったりすることで「頑張って作って良かった。」「また作ってみたい。」という喜びや達成感・成就感をもたせることで自己肯定感を高めさせたい。

また、材料集めに協力してくださった方々や作り方を教えてくださったゲストティーチャーへの

感謝の気持ちを表すことの大切さを教えたい。そして、お礼の言葉を伝えたり手紙を書いたりする活動も取り入れ、人と人がつながることのよさを感じさせ、今後も自分から人とつながっていこうとする意識をもたせたい。

2 単元の指導目標と評価規準

		目 標	評価規準
5 年 男 児	自 立 活 動	○活動の手順やきまりをよく聞いて行動に移すことができる。 ○集中力を持続させ、道具を安全に扱い、決められた時間で作業ができる。	・指導者やゲストティーチャーの話を落ち着いて聞いたり、必要なことを尋ねたりすることができる。 ・タイマーを活用し、決められた時間で行動を切り替えることができる。 ・道具の扱い方や危ない行動を理解し、安全面に注意を払って作業することができる。
	国 語 科	○内容に応じた手紙の書き方が分かる。	・書写の手本をもとにして加除修正しながら、依頼の手紙を書くことができる。
3 年 男 児	自 立 活 動	○いろいろな人と関わって、内容や場に合った言い方で応答することができる。 ○必要に応じて、質問したり手助けをしてもらったりしながら作業することができる。	・指導者やゲストティーチャーの話を聞き、分からないことを尋ねたりお礼の言葉を伝えたりすることができる。 ・活動の流れや作り方を理解し、指導者と一緒に最後まで作業することができる。
	国 語 科	○指導者と一緒に、必要な言葉や絵を入れてポスターを作成することができる。	・指導者と一緒に話し合いながら必要な事柄を考え、相手に分かりやすくポスターを作成することができる。

3 単元の指導計画（全6時間）

次	時	主な活動
一	1	○単元の見通しをもつ。 ・作りたい物を決める。時間配分と必要な材料、役割分担などの計画を立てる。
二	2 (本時)	○ゲストティーチャーの依頼準備をする。【5年男児】 ・依頼の手紙を書く。 ○材料集めの準備をする。【3年男児】 ・材料集めの協力を呼びかけるポスターを作る。
	3	○ゲストティーチャーへ依頼の手紙を届ける。 ○職員室に、材料協力をお願いするポスターを届ける。
	4～5	○ゲストティーチャーに作り方を聞く。 ○集まった材料で作品を作る。
三	6	○活動全体の振り返りをする。 ・作った物を互いに見せ合い交流をする。(自己評価・相互評価) ・協力してくださった方にお礼の手紙を書き、感謝の気持ちを伝える。

4 本時の指導 (2/6)

(1) ねらい

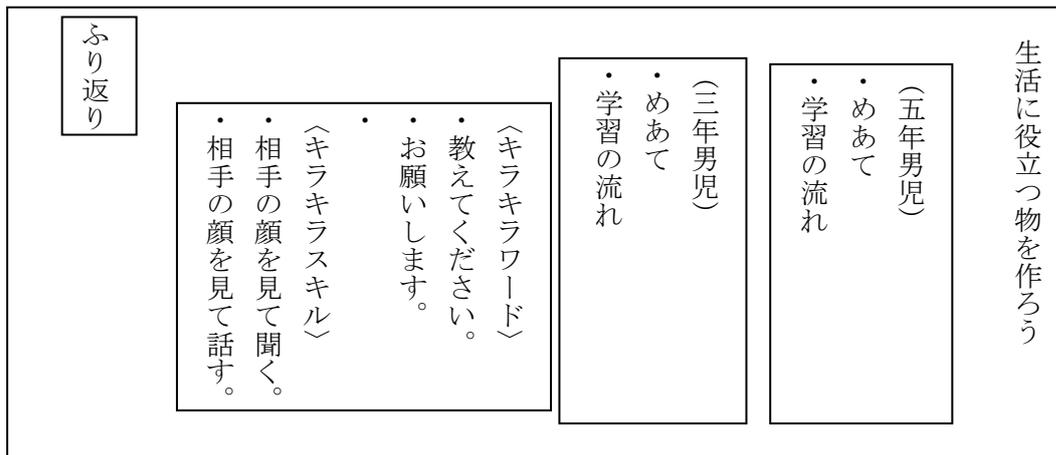
- 【5年男児】 ・依頼文の書き方を知り、目的に合った依頼文を書くことができる。(国語科)
- ・思い通りにならなくても、最後まで取り組むことができる。(自立活動)
- 【3年男児】 ・ポスターの書き方を知り、指導者と一緒に書くことができる。(国語科)
- ・難しいことや分からないことを、自分から尋ねることができる。(自立活動)

(2) 展開

段階	学習活動・学習内容	指導の手立てと評価
導入 5分	<p>1 前時までの学習を想起し、本時の学習課題を確認する。 【T1】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【5年男児】・作り方を教えてくださる方に、依頼の手紙を書こう。</p> <p>【3年男児】・材料を集めるためのお願いのポスターを作ろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く姿勢が崩れそうな時は、合図したり一度話を止めて確かめたりする。できている時は褒めて認める。 ・学習に向かえない時は、スタートの時刻を自己決定させ、それまでの過ごし方を指導者に話させる。 <p style="text-align: right;">【5年男児】</p>
展開 35分	<p>2 学習の流れを確認する。 【T2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の確認 ・キラキラワードとキラキラスキルの確認 <p>3 依頼文を書く。ポスターを作る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【T2】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【5年男児】</p> <p>① 手本をもとに、依頼文の書き方を知る。</p> <p>② 依頼したい内容に合わせて手本の文章を加除修正して下書きを作る。</p> <p>③ 互いの活動経過を伝え合う。</p> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【T1】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【3年男児】</p> <p>① 手本をもとに、ポスターの書き方を知る。</p> <p>② 自分の作りたいポスターを考える。(指導者と一緒に下書きを作る。)</p> <p>③ 互いの活動経過を伝え合う。</p> </div> </div> </div> <p style="text-align: center;">(交流1)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>④ 清書をする。</p> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>④ 清書をする。</p> </div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・短い言葉で書かれた学習の流れを掲示し、視覚的にも捉えやすくさせる。 ・流れを確認後、集中できるスペースで個別に学習をさせる。 ・あらかじめ決められた時間で活動を区切ることを知らせる。(タイマーの活用) ・2人とも作品のイメージが持ちにくいと思われることから、手本を準備し参考にさせる。 ・③において5年男児は、3年男児にアドバイスするように促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>〈評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手本を加除修正し、依頼文を書くことができたか。 <p style="text-align: center;">【5年男児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉や絵を自分で選択し、ポスターを作ることができたか。【3年男児】 </div>

ま と め る	4 学習の振り返りをする。【T1】	<ul style="list-style-type: none"> ・の相互評価と指導者の評価により、自己肯定感を高めさせる。 ・自分が書いたものが次の活動につながることを伝え、作品作りへの意欲を持続させる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・完成したものを見せ合う。 (交流2) ・自己評価と相互評価を行う。 	
5 分	5 次時の予告をする。【T1】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼の手紙やポスターを渡しに行くことを確認する。 	

5 板書計画



6 場の設定

